

議長（黒沢義久君） 次，17番川又照雄君の発言を許します。

〔17番 川又照雄君登壇〕

17番（川又照雄君） 17番川又照雄でございます。議長より発言のお許しをいただきましたので、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

新生常陸太田市が誕生して丸5年が経過いたしました。細部でのよしあしはともかく、総じて堅実なる歩みを続けていると感じます。昨今、政治がより私たちの生活に直結する時代となりました。議員は歴史に学び、日々研さんを積み、政治が少しでもよくなるよう努力し、市民の負託に応えなければなりません。一般質問も議員の職責と考え質問に入ります。

最初に、不良行為少年の補導状況についてお尋ねいたします。

先ごろ行われた筑波大学の連携によるまちづくりシンポジウムの高校生の研究発表や合併5周年記念での小中学生の作文発表に大変感動を受けました。子どもたちの健全な成長をも見ることができました。しかし一方、茨城県警察本部少年課の不良行為少年の補導状況についての報告を見ると大変驚かされました。減少傾向にあると言われておりますけれども、昨年、平成20年度で15,767名が補導されております。ちなみに不良行為少年とは、非行少年には該当しないが飲酒、喫煙、家出、深夜徘徊など、自己または他人の徳性を害する行為をしている少年とあります。いつの世にもあるとはいえ、ここで老婆心ながら1点目、当市における不良行為少年の補導状況について、2点目として、当市の対応策についてお尋ねをいたします。

次に、エコミュージアム活動についてお尋ねいたします。

本市の将来像である「自然・歴史を活かし、人・地域がかがやく協働のまち」の実現のため、エコミュージアム活動推進計画に基づいたまちづくりが進められていることと思います。この計画では、地域資源の発見、整備、利活用活動を柱として、常陸太田市のエコミュージアム活動を推進していくこととありますが、エコミュージアム活動は、市民が自分たちの住んでいる地域の自然、歴史、伝統行事などの地域資源を再発見し、それらを評価、認識することで地域への愛着と誇りを持つことから始まるのではないかと強く思っております。

つきましては、地域のよさを探す「わがまち地元学」の実施状況等も含め、1点目として、現在までの推進状況について、2点目として今後の展開について、3点目は、これまでの既にあるモデルコース活用の実例についてをお尋ねをいたします。

最後に、パークゴルフについてお尋ねいたします。

1983年、公園で幅広い年代の人ができるスポーツとして北海道で考案され、現在、全国に100万人を超える人が楽しんでいると聞いております。コースはゴルフよりも短く、パー数は18ホール66打で、距離は1ホール100メートルまでで9ホール500メートル以内とし、パーは3から5に設定、カップの大きさは20センチから21.6センチ、コース料金も500円程度で、プレイに要する時間は18ホールでおよそ1時間半、36ホールで3時間程度、昼食をはさんで1日楽しむことができるスポーツであります。

昨年、私も山形県で民謡仲間と楽しんでまいりました。そこで、当市にもぜひ普及したいと考えました。1点目として、当市においてその普及の考えはあるのか、2点目として、個人で開設

する場合、耕作放棄地を利用することへの問題点についてをお尋ねいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。市民生活部長。

〔市民生活部長 五十嵐修君登壇〕

市民生活部長（五十嵐修君） 市民生活部関係の2点の質問にお答えをいたします。

1点目の当市における不良行為少年の補導の状況でございますが、太田警察署管内で平成19年が498名、平成20年が267名、平成21年は10月末現在で130名が補導されている状況であり、関係機関、関係団体等と連携を図り、パトロールや指導を行ってきた結果、補導者数は年々減少の傾向にあります。

2点目の当市の対応策についてでございますが、安心して安全な地域社会の実現を目的とし、平成21年度に安全・安心まちづくり推進計画を策定いたしました。その中で、青少年健全育成対策を計画し、犯罪のない住みよいまちづくりを推進しているところでございます。今後、引き続き警察署や青少年指導員、学校と警察の連絡協議会、青少年健全育成市民の会、自警団などと連携を図り、巡回パトロールや夜間パトロールを強化し、指導を行い、今後も青少年の健全育成と非行防止に努めてまいります。

以上です。

議長（黒沢義久君） 教育長。

〔教育長 中原一博君登壇〕

教育長（中原一博君） エコミュージアム活動についてのご質問にお答えいたします。

まず、現在までの進捗状況でございますが、平成19年度の常陸太田市エコミュージアム活動推進委員会の発足以来、エコミュージアム活動推進計画に基づき活動を進めているところでございます。現在、地域のよさを探す「わがまち地元学」を昨年度に上宮河内町会が始めて、今年度は新たに持方集落、天神林町会、上深荻大管町会、赤土町会、真弓町会の5町会で実施してきております。

子どもから大人まで地域の方々が自分たちの地域を見直し、そのすばらしさを知る活動を通して地域おこしを始めようとする機運が芽生えてきております。特に地域資源の活用の動きにつきましては、これまでそれぞれの地域で培ってきた地域資源を生かした地域づくりの発展として、河内地区での赤レンガと銀杏まつり、生田の滝コンサートや持方集落と里川町との交流会の実施等々、各地でさまざまな自主的な活動が展開されているところでございます。

また、今年で3回目となる文化財の集中公開には、市内外から4,800人を超える方々が訪れ、本市の文化財のすばらしさを実感していただいたところです。

また、このエコミュージアム活動を進めるに当たっては、この活動の考え方や内容の理解、啓発が大変大切でありますので、市の広報紙や生涯学習情報誌「フォonz」等に関連する内容等を掲載し、その普及に努めております。

次に、今後の展開についてでございますが、当市が目指すまちの将来像実現のため、一番大切なことは、地域の方々が自分の地域に誇りと愛着を持ち、地域が元気になっていくことであると

考えておりますので、「わがまち地元学」の実施を初め、市民提案型まちづくり事業などにより、継続して地域づくりを支援してまいりたいと考えております。

地域に元気と魅力が出ればグリーンツーリズムのような事業の受け入れも十分可能になり、交流人口の増加による経済効果も期待されると考えております。そのためにも、より多くの市民やまちづくり団体がエコミュージアム活動に参加できる環境を整えるとともに、地域との連携を図りながら、本市の豊かな地域資源を活用した地域巡りルート、コースの検討や案内人の育成に一層努めてまいりたいと考えております。

さらに、モデルコースの活用についてのご質問ですが、常陸太田市内にある13のモデルコースの活用につきましては、現在一部のコースにおいて、子どもたちを対象とした自然探索活動や各種生涯学習講座におけるエコミュージアム体験コース、市商工会が主催する常陸太田歴史の里健康ウォーキング大会のコースとしても利用されておりますので、今後とも多くの方々に利用していただけるようにするとともに、さらにモデルコース以外にさまざまな観点から魅力あるコースを設定し、市内外に積極的に情報を発信してまいります。

次に、パークゴルフについてのご質問にお答えいたします。

現在、市では平成26年度を目途に、市民のだれもが健康で暮らせることを目標に、20歳以上の市民の週1回以上の運動実施率50%以上を目指しており、体育協会などと連携を深めながらさまざまなスポーツを実施してきております。

また、過日の合併5周年記念式典において、常陸太田の元気力創造宣言を行い、運動実施率50%以上を改めて宣言したところでございます。今年5月には、健康づくりやスポーツに親しむきっかけづくりの機会として、多くの市民の参加を得てウォーキングや軽スポーツに親しむチャレンジデーを実施したところでございます。また、平成19年度から体育指導委員協議会との連携による各地域において巡回スポーツ教室を開催し、グラウンドゴルフやソフトバレーボールの普及を進めており、年々参加者数が増加するなどの成果があらわれてきておりますので、スポーツの振興を図る上でニュースポーツの導入は有効なことと考えております。

ご質問のパークゴルフの普及につきましては、ゴルフコースの整備等が必要となりますので、先進事例の調査や関係団体との協議を行うなどして今後検討してまいります。

次に、2点目の個人でのパークゴルフ場開設への耕作放棄地利用の問題点についてでございますが、農地転用等、法に基づく手続きを経れば特に問題がないということでございます。

議長（黒沢義久君） 17番川又照雄君。

〔17番 川又照雄君登壇〕

17番（川又照雄君） ご答弁ありがとうございました。

不良行為少年の問題は、非行防止、犯罪防止の安全・安心のまちづくりの点でも重要な問題であります。家庭や地域での不良行為について考える機会を持たせるなど、今後とも地域住民や関係団体とも連携して、危機感を持って対応をしてほしいと強く要望いたします。

エコミュージアムの推進でありますけれども、エコミュージアムの考え方は、地域全体が生きた博物館というまちづくりのコンセプトであります。実際、当市を散策しただけでもそれを痛感

いたします。この活動の推進が地域住民のエコミュージアム活動にかかわる契機となり、来訪者にとっても地域住民にとっても生きた形での生活文化の学習が可能となるものです。来訪者を増やし、地域内外の人との交流によって地域のよさを知り、特に将来のある子どもたちや若者にそれを伝承させることが大切であると思います。時間をかけても人づくり活動を進め、地域活性化や産業の発展が目的であると思われます。ここでエコミュージアム推進室を設け、その任に当たり、当市独自のエコミュージアム活動を展開すべきと考えますが、市長のご所見とご見解をお尋ねいたします。

パークゴルフ普及の私の狙いは、健康づくりもありますけれども、ほかに今、希薄になっている多世代交流や家族のきずなづくりにあります。もう一つは、次第に増え続けている耕作放棄地を考えることにあります。農地として再生の道を地域や市民全体で考えてほしいと思うからであります。さらには、温泉施設や宿泊施設利用も考えて産業振興にもつなげてほしいと思います。その他のスポーツにも言えることでありますけれども、スポーツ振興、健康づくりばかりか、やはりみんなで産業振興を考える、ぜひともこういうことを単にスポーツ振興というだけではなくて、それを通じて市内の産業振興も考える、そういうイベントとかスポーツ大会も考えてほしいなど、この点も強く要望いたします。

以上で私の2回目の質問を終わります。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） エコミュージアムの活動の活性化を図るために推進室等を設けてはというお尋ねでございます。先ほど1回目の答弁で申し上げましたとおり、おかげさまでエコミュージアムにつきましたの活動が今、活発化をしてきている状況にあります。もっともっとスピードを上げてそれをやっていくためには、現在の陣容で不足であるというような場合には、当然のことながら「室」という職制上の名前を付けるかどうかは別にして、内容のパワーアップを図っていきたいというふうに考えております。

議長（黒沢義久君） 17番川又照雄君。

〔17番 川又照雄君登壇〕

17番（川又照雄君） 市長、答弁ありがとうございました。

当市の元気づくりのためにも、今後はさらにエコミュージアム活動に対する行政姿勢、あるいは職員気概、そういったものを示すことが大事だと思っております。エコミュージアム推進係が一生懸命やっているのは存じておりますけれども、先ほど同僚議員の質問にもありましたけれども、大変広大な面積を擁する当市でありますから、さらにすみずみまで、あるいはここに住んでいる常陸太田市民がみんなでエコミュージアム意識を高めていくと、それが非常に大事だと思いますので、今後とも行政努力を期待し要望し、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。